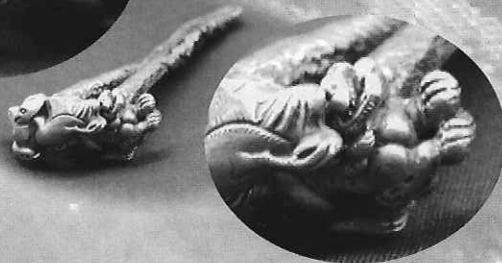
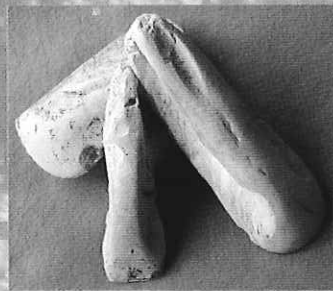


宮古の自然と風土

展示案内



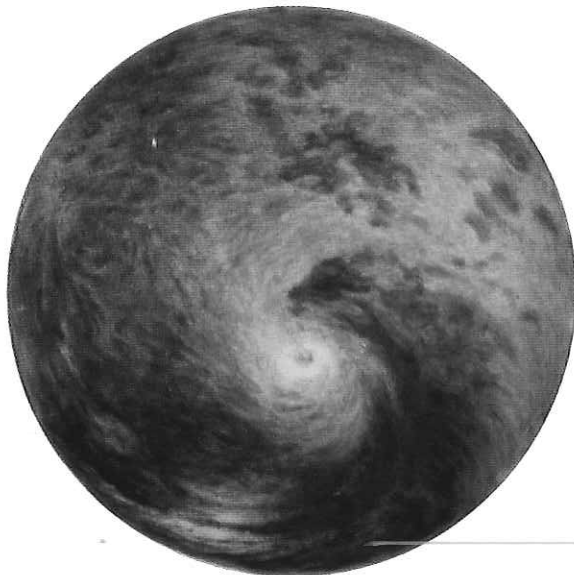
宮古島市総合博物館

宮古島市総合博物館は「宮古の自然と風土」を基本テーマに宮古の自然・歴史・民俗・文化を明らかにすることを目的として設立された総合博物館で、平成元年11月1日に開館しました。宮古の調和ある発展をめざすとともに地域住民の学習の場として、又、宮古の文化活動の拠点として大きな使命をになっております。



博物館全景

天井画・渦



製作 下地 明増
砂川 則男
与那覇 敏
監修 安次富長昭

広大な宇宙に広がる星雲のような「渦」がそこにある。渦は周囲から青や緑の色彩が湧きおこり、次第に廻転しながら中心に移行するにしたがって、紫、赤、橙、黄へと変化しつつ渦の中に消え入るのである。その絵は単純化された渦を描いているにすぎないが、それを見ていると、その絵に内包されている宮古の風土や歴史、そしてそれに培われてきた宮古の文化の中に吸い込まれていくようである。

宮古の自然には「台風」があげられるように厳しい自然がある。しかし、宮古の人々はそれを乗り越えて独自の伝統文化を築いてきた。渦の形態は、まさに台風の渦そのものようであるが、その表現は、渦の中に内包されている宮古の伝統文化である。台風を災いとしてとらえるのではなく、むしろそのエネルギーを自らの活力の糧にして培ってきた精神、いわゆる”アララガマ精神”でお互いを鼓舞し、奮起しながら独自の文化を築いてきた。

渦の周囲から湧き出る青や紫は宮古上布の藍が光り輝く色であり、それがやがて大きな渦の輪となって赤や黄色の明るい色に変化し、クイチャーの歓びの姿へと昇華していくのである。

解説・安次富長昭
(琉球大学名誉教授 図画会会員)

目 次

第一展示室【考古・歴史・民俗部門】

考古

先史時代	1
先島先史時代の編年	2
歴史時代	3
土器の変遷	4
住屋遺跡	4

歴史

宮古島の渡来人と遺跡	5
婆羅公管下密牙古人	7
按司時代と目黒盛豊見親	8
与那覇勢頭豊見親	9
朝鮮人漂流民が見た宮古	9
仲宗根豊見親	10
人頭税制下の宮古	11
西洋人の見た宮古	13
明治期・世替わり前の事件と災害	14
宮古島民遭害事件	15
ロベルトソン号救助	16
下地仁屋利社殺害（サンシー）事件	17
学校創設	17
人頭税廃止運動と土地整理	20
日露戦争と宮古	20
太平洋戦争下の宮古 第二次世界大戦宮古関係年表	21

民俗

御嶽祭祀	25
宮古の主な年中行事	26
宮古島の葬式	33
墓の形態と分布	34
水と生活	36
漁業	37
農耕 農事暦	38
住居	41

第二展示室【自然科学・美術工芸部門】

自然科学

宮古諸島の自然	43
宮古諸島の生いたち	46
化石の発見場所	49
宮古島の地層	50
宮古島の特殊な地形	50
宮古諸島の植物	50
宮古諸島の鳥類	51
宮古諸島の昆虫	53
宮古諸島のほ乳類・爬虫類・両生類	54
潮間帯（磯）の小動物	55
宮古島の湧水に生息するエビ・カニ類	56
四季の星座	57

美術工芸

宮古上布 宮古上布ができるまで	59
旧家所蔵品	62
宮古の焼き物	65
針突	65
旧蔵元復元画	66
宮古史略年表	67

凡例

1. 本展示案内は、平成5年3月31日発行の『平良市総合博物館展示案内』を基本として、新たな収蔵品や調査報告書などを追補・修正、展示を補完する目的で編集・作成した。
2. 本展示案内は、当博物館学芸係が編集した。
3. 本展示案内に掲載されている写真は、当博物館の展示品とこれまで実施された企画展で用いられられた写真を使用している。そのため必ずしも展示品とは一致しない。
4. 本展示案内で紹介した資料や写真等に関しては、当博物館において保管している。

本展示案内を編集するにあたり、情報をお寄せいただき、ご協力をいただきました皆様に深く感謝の意を表します。

協力者一覧（敬称略・順不同）

- 久貝 勝盛（宮古野鳥の会顧問）
- 下地 和宏（宮古島市市史編さん副委員長）
- 川上 勲（宮古島市文化財保護審議委員）
- 田中 聡（沖縄県立博物館・美術館学芸員）
- 佐々木健志（琉球大学風樹館）
- 佐藤 宣子（宮古島市編さん事務局）
- 木村 正明（〈有〉ガショウGA-SHOW）